

**第6期四国中央市自立支援協議会
障がい児・者の当事者向けアンケート
調査報告書**

令和2年2月

四国中央市自立支援協議会資源開発部会

1. 調査目的

当事者の障がい福祉サービスのニーズ調査・分析を行い、不足しているサービスの検証や充実するための方策の研究、未実施及び新たなサービス利用に関する基礎資料を得ることを目的として実施した。

2. 調査概要

- 調査対象 障がい児・者
- 調査方法 直接配布（学生聞き取り含む）、郵送配布
- 調査票 別添1参照
- 調査期間 2019年8月30日～9月30日
- 回収率 63.6%（回収数318件 / 配布・郵送数500件）

3. 集計・分析方法

回答者全体を集計する単純集計とともに、障がいの種別で相違や傾向を分析するため、設問3の「身体障がい」「知的障がい」「精神障がい」「発達障がい」の回答別にクロス集計も併せて行った。（別添2参照）

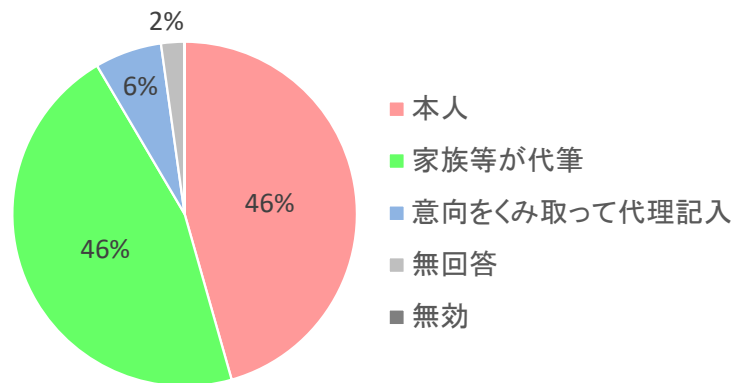
（文章の中で、「〇〇障がい者」と表記しているところは、設問3で「〇〇障がい」と回答した人を指しています）

※ クロス集計 … 年齢や性別など対象者（属性）を限定して集計する手法

4. 調査結果

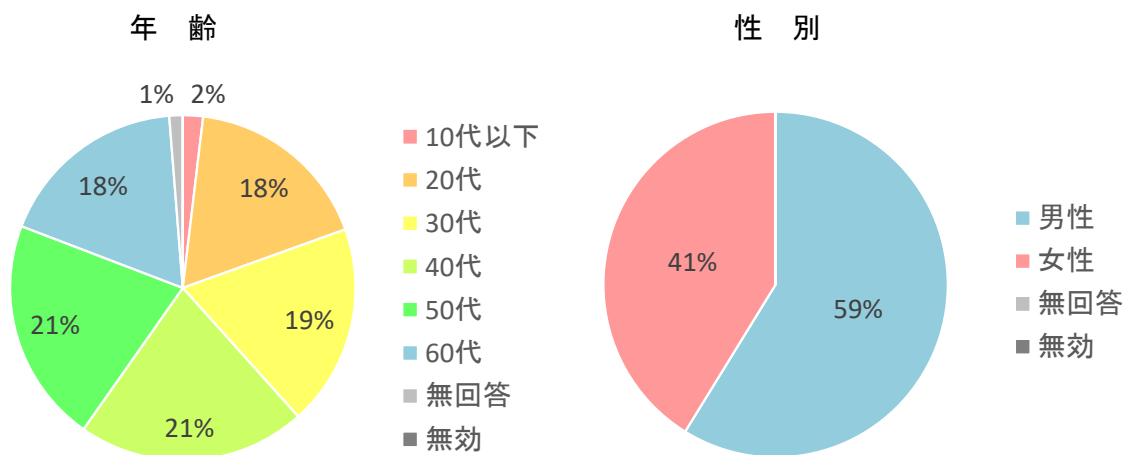
問1 アンケートの記入者

- 回答者の約9割は、「本人」「家族等が代筆」と自分の意志で回答している
 ※ 「家族等が代筆」の中には、学生や事業者がヒアリング形式で調査をしたものも多く含まれており、知的障がい者と精神障がい者で特に多くなった



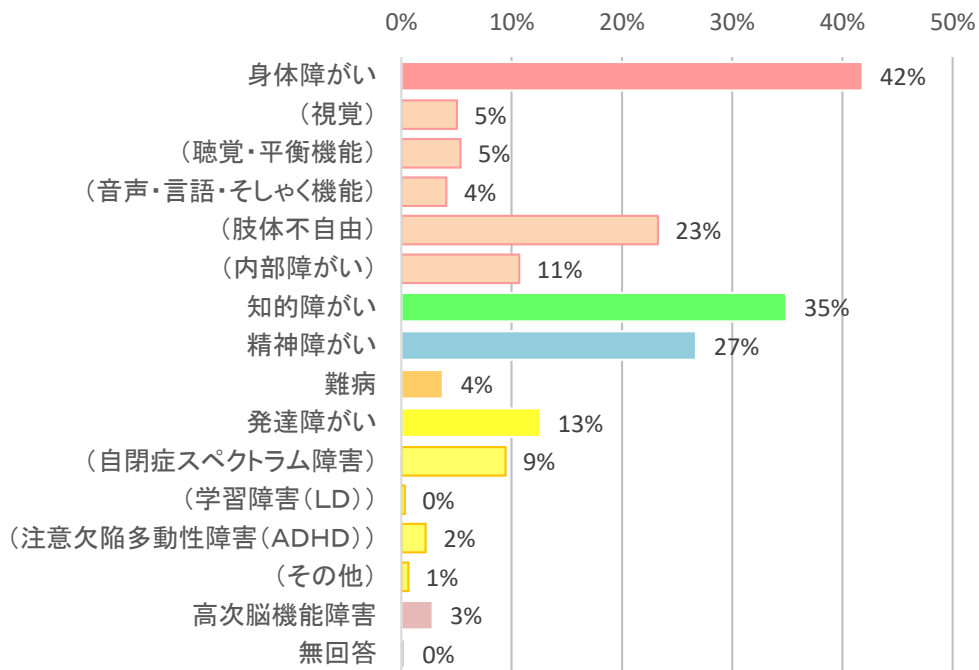
問2 年齢と性別

- 全体としては、20代・30代・40代・50代・60代が約2割ずつを占めているが、10代以下はほとんど含まれていない
 ○ 全体及び各障がい種別においても女性より男性の方が多い
 ○ 身体障がい者は、50～60代が約6割を占めている (比較的高年齢層)
 ○ 知的障がい者は、20～40代が8割近くを占めている (比較的若年齢層)
 ○ 精神障がい者は、30～50代が8割近くを占めている (比較的中年年齢層)
 ○ 発達障がいのある方は、20～30代が8割近くを占めている (比較的若年齢層)



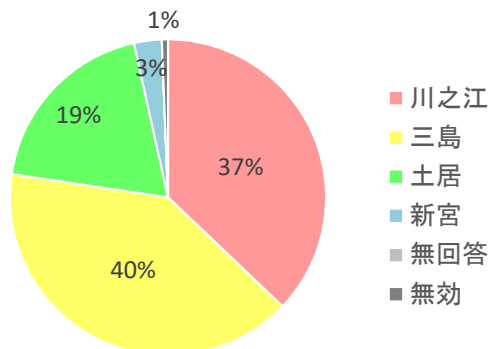
問3 障がい等の種別（複数回答）

- 身体障がい 42%、知的障がい 35%、精神障がい 27%、発達障がい 13%となっていて、発達障がいのうち約3割の人が知的障がいか精神障がいと重複している
- 難病や高次脳機能障害は、約9割が身体障がい（主に肢体不自由）と重複している
- ※ 四国中央市の64歳以下の手帳所持者のうち、身体障害者手帳所有が約44%、療育手帳所有が約39%、精神障害者保健福祉手帳所有が約22%なので、全体集計ではやや精神障がい者の意向が強く現れることとなる
- ※ 自身の障がいについて十分に理解できていないことも考慮する必要がある



問4 現在お住まいの地域

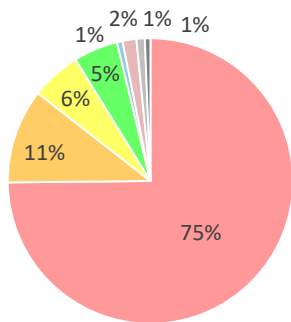
- 人口割合と比較して、地域の偏りはあまりみられない



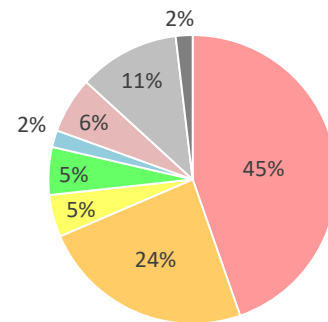
問5 今住んでいる環境と将来住みたい環境（複数回答）

- （障がいの種別に関わらず）約7～8割が現在「家族と一緒に」住んでいる
 - 現在と将来の差（ニーズ）から「一人暮らし」を希望する人が多い（全体のうち15%が「家族と一緒に」から「一人暮らし」を希望している）
 - 「一人暮らし」「障害者支援施設」「高齢者施設」は希望が叶えば今より増加する
 - 「グループホーム」「障害者支援施設」「高齢者施設」においては、継続して住みたい（現在と将来が同じ）と回答した人が半分にも満たない
 - 知的障がい者の現在と将来の差より、「一人暮らし」と「グループホーム」は増加傾向にあるが、「障害者支援施設」は減少傾向にある*
 - 精神障がい者は、現在家族と住んでいる人が66%と多いが、将来は一人暮らしを望んでいる人（45%）が多く、グループホームはあまり望んでいない（12%→2%）*
 - 現在入院中の割合は1%（全て身体障がい）であった
- * 対象者が少ないため誤差の可能性もある

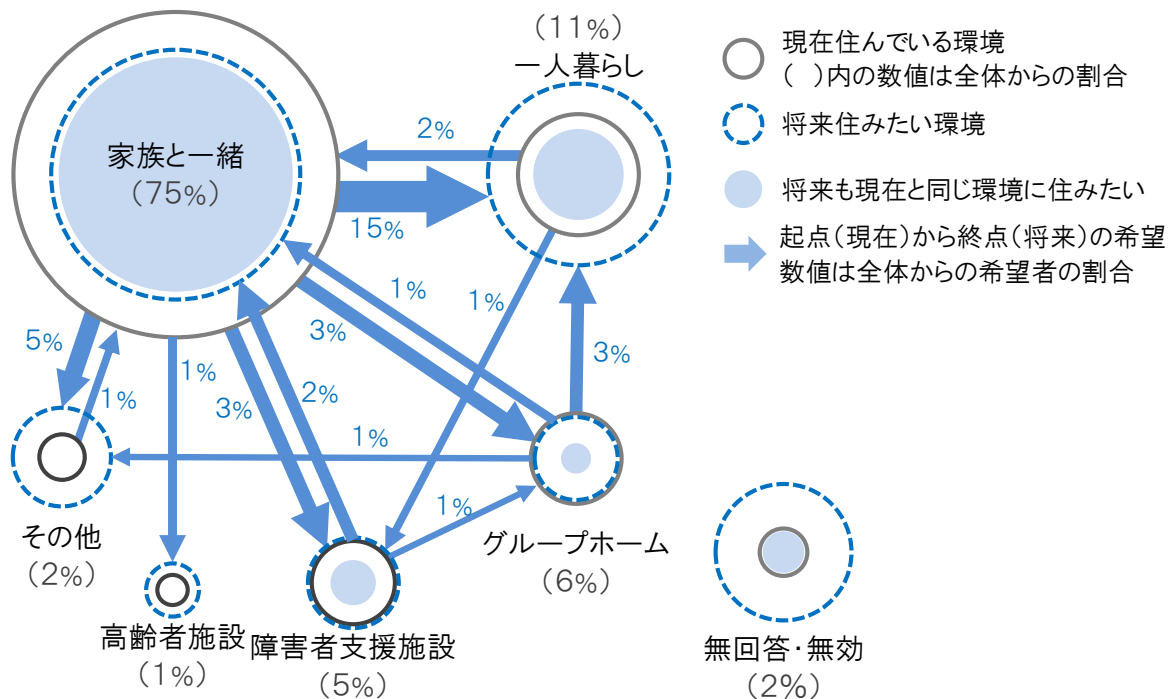
今住んでいる環境



将来住みたい環境



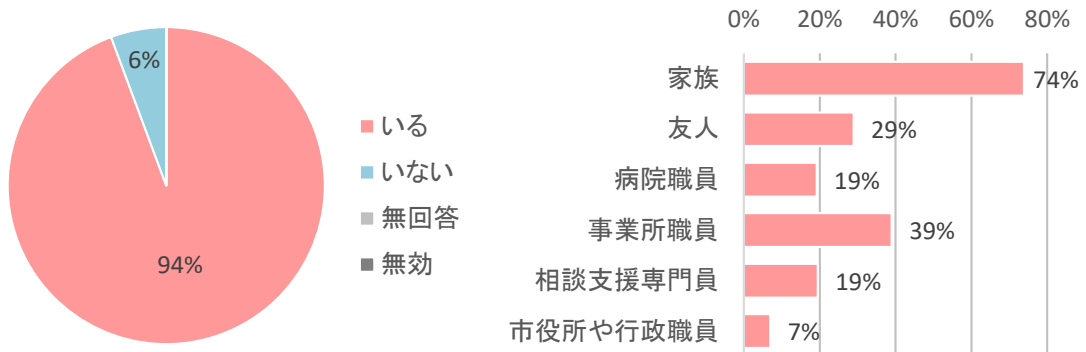
現在と希望の住環境の流れ



※ 数値は四捨五入しているため合計しても100%にはならない

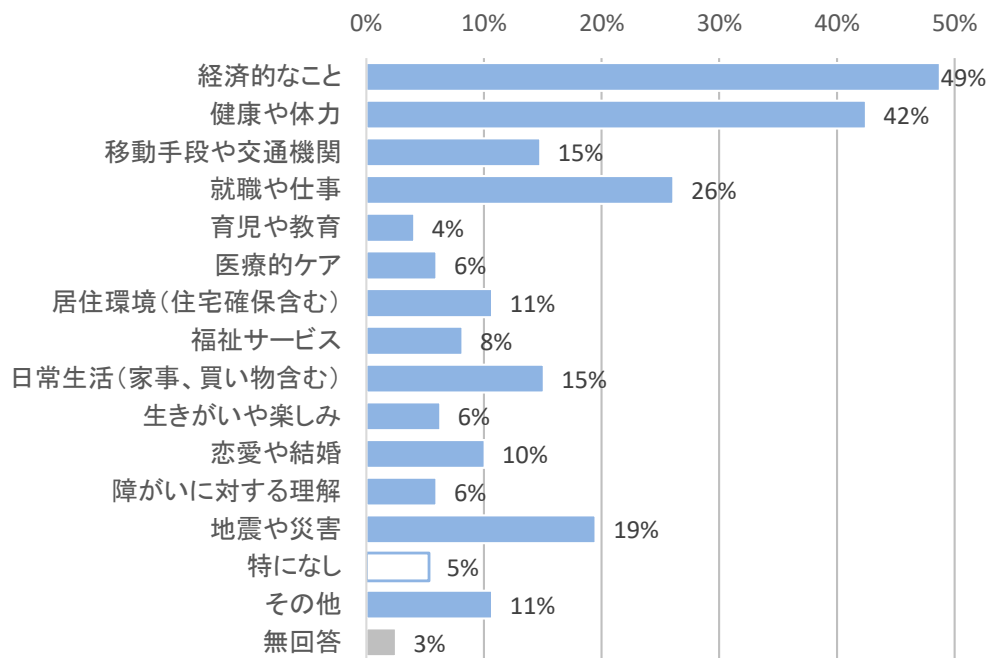
問6 相談相手（複数選択）

- 相談相手としては家族が 74%と最も多く、次に事業所職員（39%）となっている（担当のいる相談支援専門員（19%）よりも多い）
- 身体障がい者は、病院職員・事業所職員・相談支援専門員である福祉専門職に相談している人が少ない
- 知的・精神・発達障がいがある方で、事業所職員や病院職員が高くなっているのは、通所や通院している人が多いためだと思われる（問8「日中の過ごし方」との関連）



問7 将来について不安なこと（3つまで）

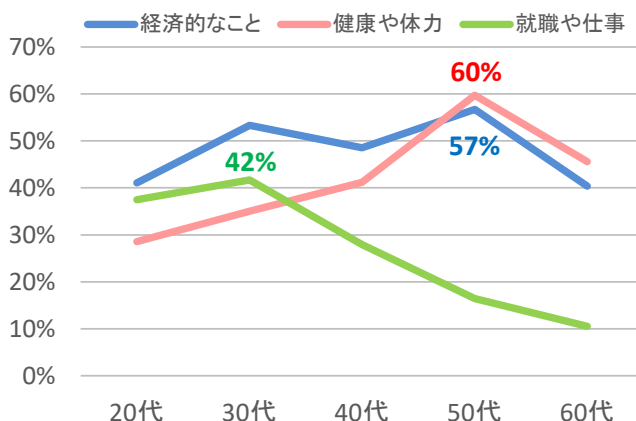
- 「経済的なこと」が49%と多く、次に「健康や体力」(42%)が多い
- 身体障がい者は、「経済的なこと」が51%「健康や体力」が48%と特に多い
- 発達障がい者は、「経済的なこと」が65%、「就職や仕事」が45%と特に多い
- 「就職や仕事」を心配しているのは、発達障がい（45%）・精神障がい（32%）・知的障がい（29%）の順に多いが、障がいの傾向だけでなく、年齢が影響（回答者が若い）している可能性が高い（全体集計では20代と30代は約4割が不安と回答している）
- 障がいの種別による平均回答数は、発達障がい（2.69）と精神障がい（2.42）が多く、幅広く不安を抱えていることが分かる



障がい種別ごとの不安なことの回答数

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい
1人あたりの不安なことの回答数	2.28	2.31	2.42	2.69

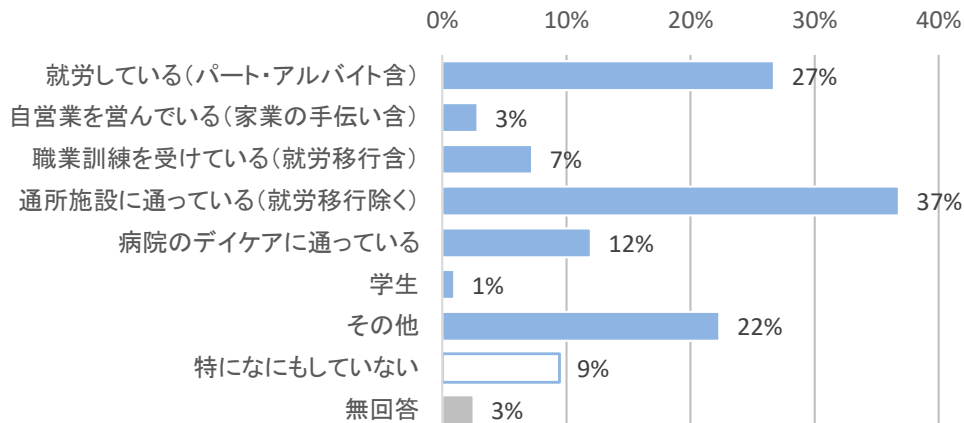
年代別回答率と傾向



	傾向
経済的なこと	50代が最も高く、60代や20代が低い
健康や体力	50代が最も高く、若年世代ほど低い
就職や仕事	30代と20代が特に高く、高齢世代ほど低い

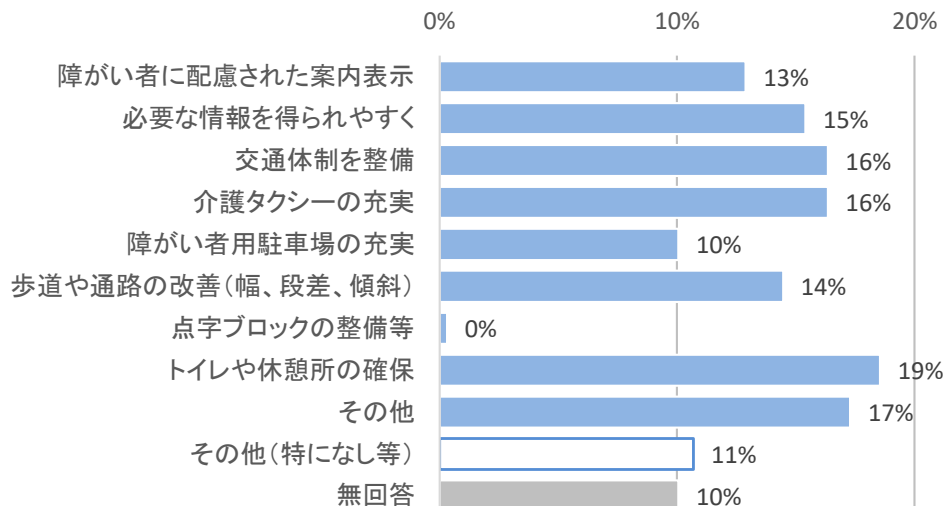
問8 日中の過ごし方（複数回答）

- 通所している人が約4割と最も多く、（自営業を含め）就労している人は約3割である
- 通所はしている人は精神障がい（54%）・知的障がい（50%）・発達障がい（35%）に多く、就労している人は身体障がい（38%）・発達障がい（38%）に多い
- 精神障がい者は、通所の次に病院のデイケアに通っている人（31%）が多い



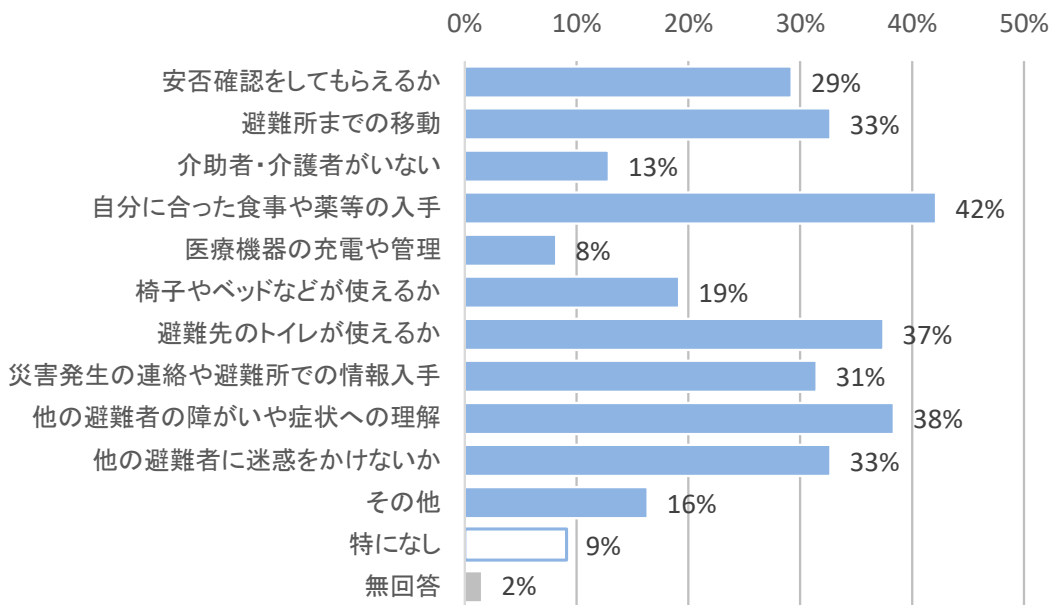
問9 外出しやすくなるには（2つまで）

- 全体としては「トイレや休憩所の確保」が19%と最も多いが、以下のとおり障がい種別において重要とされるものが異なっている
- 身体障がい者は、「介護タクシーの充実」(23%)や「障がい者用駐車場の充実」(23%)や「トイレや休憩所の確保」(21%)が多い
- 知的障がい者は、「トイレや休憩所の確保」(22%)や「障がい者に配慮された案内表示」(19%)や「必要な情報を得られやすく」(18%)が多い
- 発達障がい者は、「必要な情報を得られやすく」(28%)や「交通体制を整備」(28%)が多い



問10 災害時の避難や避難所での生活に関して心配なこと（複数回答）

- 「自分に合った食事や薬等の入手」が42%と最も多く、続いて「他の避難者の障がいや症状への理解」(38%)や「避難先のトイレが使えるか」(37%)が多い
- 知的障がい者は、「他の避難者の障がいや症状への理解」(45%)や「自分に合った食事や薬等の入手」(41%)以外に、「避難所までの移動」(41%)が課題となっている
- 精神障がい者は、「自分に合った食事や薬等の入手」が49%と特に多い
- 1人あたりの回答数が多い身体障がい者(3.22)と知的障がい者(3.25)は、災害時に様々な対策が求められる



障がい種別ごとの回答数

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい
1人あたりの回答数	3.22	3.25	2.57	2.85

問 1 1 自由意見・要望

○ 意見・要望を記入したのは約3割で、内容は多岐に渡るが、「就労」「障がい者への理解や配慮」「家族に依存しない自立した生活」「障がい者用のトイレや駐車場の整備と適正な利用」に関するものが複数あった。

主な意見・要望

	要望・不満に関するもの	不安・心配に関するもの
生活	●自立した生活を過ごしたい [2]	●家族に頼れない ●親亡き後の生活 [2] ●親に何かあった時
就労・雇用	●（自分や障がいに合った）仕事をしたい [5] ●体が衰えても働ける場所 ●特例子会社があればよい ●企業が障がい者雇用に消極的	
福祉サービス・制度	●入所施設の増加 [2] ●通所の送迎サービス ●障害者差別解消法が広まってほしい ●障がい者の意見が反映されにくい	
相談	●悩みを聞いてくれる相談員 ●相談が解決に至らない ●お金に関することも含め窓口を一本化	●相談の仕方が分からない
健康・医療	●市内で診療できるよう医療機関の充実	●今後、薬等の個人負担割合が増えそう
社会・まち	●（車イス対応可の）トイレの増加 [2] ●障がい者の住みやすいまちづくり [2] ●障がい者の居場所づくり ●当事者同士の話し合いの場や交流イベント [2] ●障がいへの理解や配慮（見た目で分かりにくい障がい含め） [3] ●車イスが入れる店舗の増加	
移動・交通	●路線バスの増加 ●電動車イスをバス停付近に停められない ●歩きやすい様に道路を整備 ●身体障がい者専用駐車場の増加と適正利用 [3] ●タクシーの割引	
災害	●福祉避難所の充実（トイレの整備など） ●災害対策状況を周知してほしい	●まちの災害対策がどの程度できているか
情報提供	●市内の障がい者向けの情報誌 （新制度・採用情報・イベント情報など）	

※ [] の数字は件数

5. まとめ

将来の悩みは経済的なことが最多となっており、その理由としては、「年金額の少なさ」「金銭管理のこと」「親亡き後の生活」「社会情勢不安」などもあげられたが、「自分に合った仕事・職場がない」「仕事を続けられるか不安」「給与収入の少なさ」など就労に関するものも多くあげられた（問7自由記述・11）。また、現在は家族と暮らしているが、将来は一人暮らし等を希望する人が多く（問5）、自立した生活をするためにも、就労や仕事の支援が若年世代を中心に強く求められている。一方で、就労が困難な方や望まない方には、福祉サービスの利用も含め新たな選択肢を提供できるよう、福祉専門職との接点や相談機会を創出していくことも必要となる。

外出しやすくなるためには、障がい者用のトイレや駐車場の確保が重要とされているが（問9）、整備を進めるだけでなく、一部の人が不適正に利用している状況も見受けられるため、一般市民への周知・啓発も求められる（問11）。

災害時の避難や避難所生活においては、障がい種別ごとに様々なことが求められている（問10）。各避難所ですべてのニーズに応えることは現実的に困難であるため、ある程度は当事者側にも備えが不可欠となる。そのためにも、避難所で応えられることと各自が備えることを明確にし、被災後の生活がどのようなようになるのかを実生活でイメージできるよう災害対策の状況や被災後の段階的な救援内容について定期的に周知する必要がある。

不安なことの上位にあげる人は少なかったが、就労や日常生活や災害避難等様々な場面で障がい者に対する理解や配慮が本質的に重要であることが分かるため（問11）、障がい者への理解や配慮のある社会が望まれる。

調査を踏まえて

- ◎ **多様な働き方が出来る職場環境作りや離職しないためのサポート体制の支援**
- ◎ **障がい種別ごとに被災時の避難シミュレーションが出来る仕組みの確立**
- ◎ **困りごと等必要な情報を得ることが出来るよう、障がい福祉に特化した情報提供・公開方法の確立（アプリ・ポータルサイト・情報誌など）**
- ◎ **社会的障壁による生きづらさを感じたり不利益を被らないよう、障がい者への理解や配慮ある社会を目指した啓発等の取り組み**

第6回自立支援協議会 資源開発部会

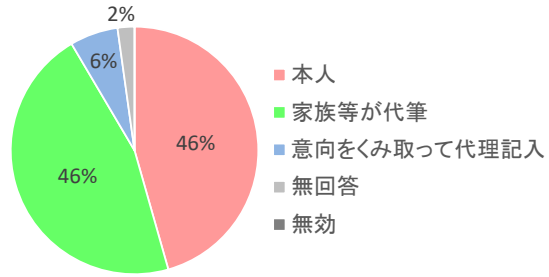
当事者向けアンケート 集計表・グラフ

集計表(総数)

総数 (n=318)

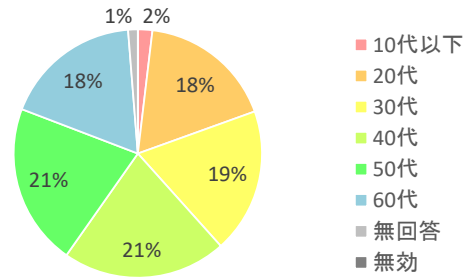
問1 アンケートの記入者

1 本人	145	46%
2 家族等が代筆	146	46%
3 意向をくみ取って代理記入	20	6%
無回答	7	2%
無効	0	0%
合計	318	100%



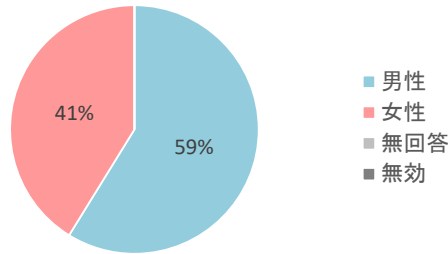
問2 年齢

10代以下	6	2%
20代	56	18%
30代	60	19%
40代	68	21%
50代	67	21%
60代	57	18%
無回答	4	1%
無効	0	0%
合計	318	100%



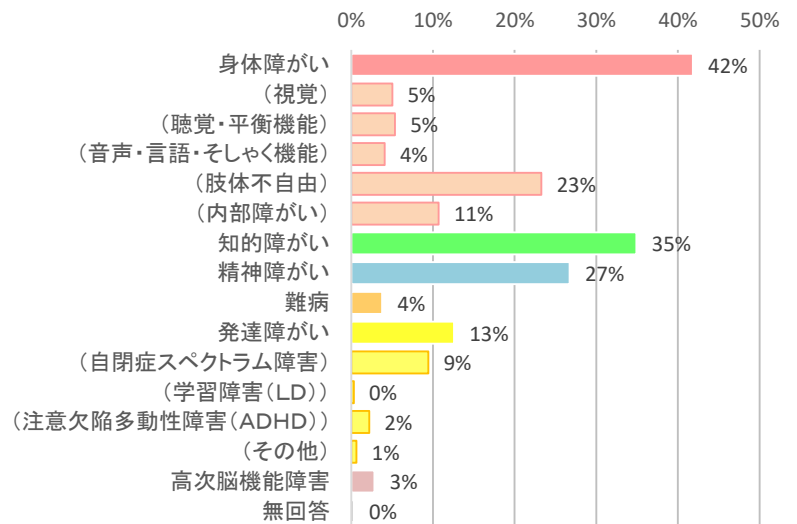
性別

1 男性	187	59%
2 女性	131	41%
無回答	0	0%
無効	0	0%
合計	318	100%



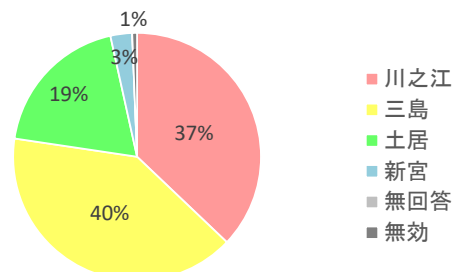
問3 障がいの種別【複数回答】

1 身体障がい	133	42%
(視覚)	16	5%
(聴覚・平衡機能)	17	5%
(音声・言語・そしゃく機能)	13	4%
(肢体不自由)	74	23%
(内部障がい)	34	11%
2 知的障がい	111	35%
3 精神障がい	85	27%
4 難病	12	4%
5 発達障がい	40	13%
(自閉症スペクトラム障害)	30	9%
(学習障害(LD))	1	0%
(注意欠陥多動性障害(ADHD))	7	2%
(その他)	2	1%
6 高次脳機能障害	9	3%
無回答	1	0%
1人あたりの障がい数	1.23	



問4 住んでいる地域

1 川之江	118	37%
2 三島	128	40%
3 土居	61	19%
4 新宮	9	3%
無回答	0	0%
無効	2	1%
合計	318	100%

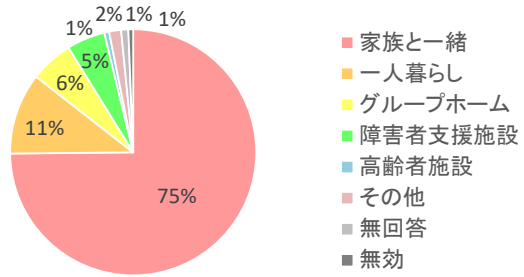


集計表(総数)

総数 (n=318)

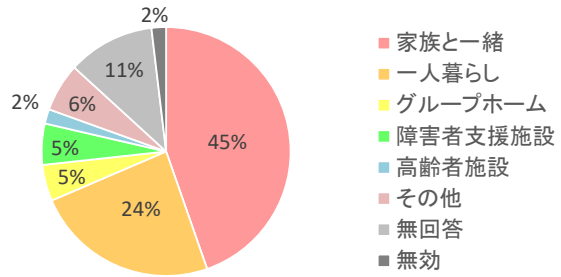
問5 今住んでいる環境

1	家族と一緒に	238	75%
2	一人暮らし	34	11%
3	グループホーム	18	6%
4	障害者支援施設	16	5%
5	高齢者施設	2	1%
6	その他	5	2%
	無回答	3	1%
	無効	2	1%
合計		318	100%



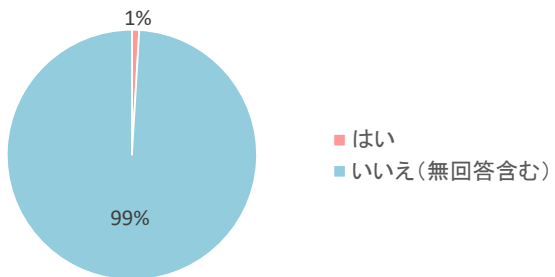
将来住みたい環境

1	家族と一緒に	142	45%
2	一人暮らし	76	24%
3	グループホーム	15	5%
4	障害者支援施設	17	5%
5	高齢者施設	6	2%
6	その他	20	6%
	無回答	36	11%
	無効	6	2%
合計		318	100%



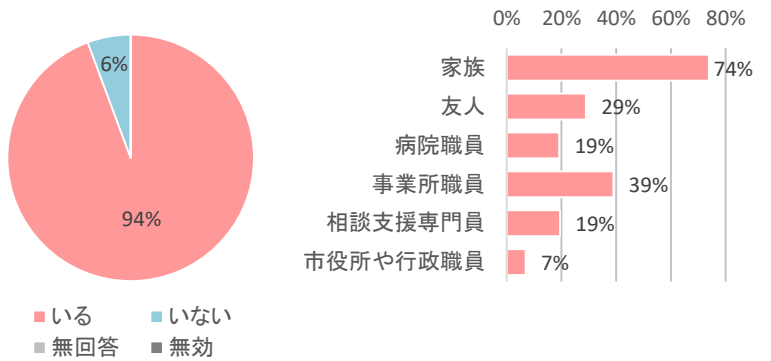
現在入院中

	はい	3	1%
	いいえ(無回答含む)	315	99%
合計		318	100%



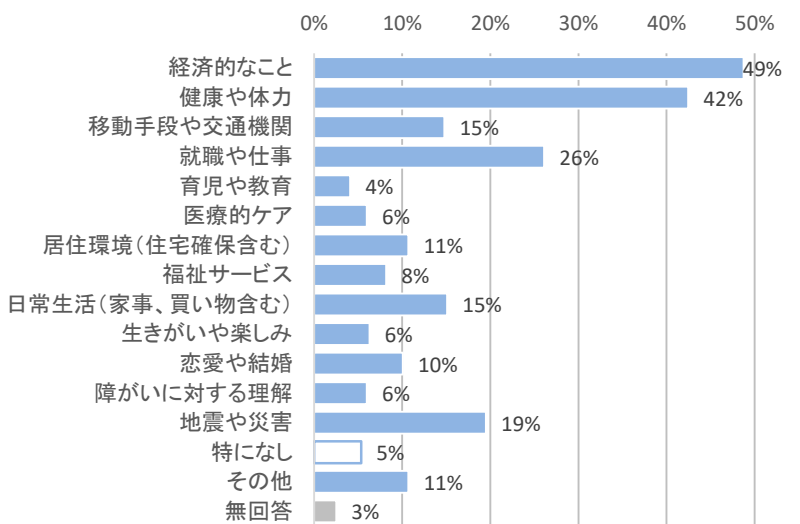
問6 相談相手

いる	300	94%	
家族	235	74%	
友人	92	29%	
病院職員	61	19%	
事業所職員	124	39%	
相談支援専門員	62	19%	
市役所や行政職員	22	7%	
いない	18	6%	
無回答	0	0%	
無効	0	0%	
合計		318	100%
平均相談相手数		1.87	



問7 将来について不安なこと【最大3つ】

1	経済的なこと	155	49%
2	健康や体力	135	42%
3	移動手段や交通機関	47	15%
4	就職や仕事	83	26%
5	育児や教育	13	4%
6	医療的ケア	19	6%
7	居住環境(住宅確保含む)	34	11%
8	福祉サービス	26	8%
9	日常生活(家事、買い物含む)	48	15%
10	生きがいや楽しみ	20	6%
11	恋愛や結婚	32	10%
12	障がいに対する理解	19	6%
13	地震や災害	62	19%
14	特になし	17	5%
15	その他	34	11%
	無回答	8	3%
1人あたりの回答数		2.35	

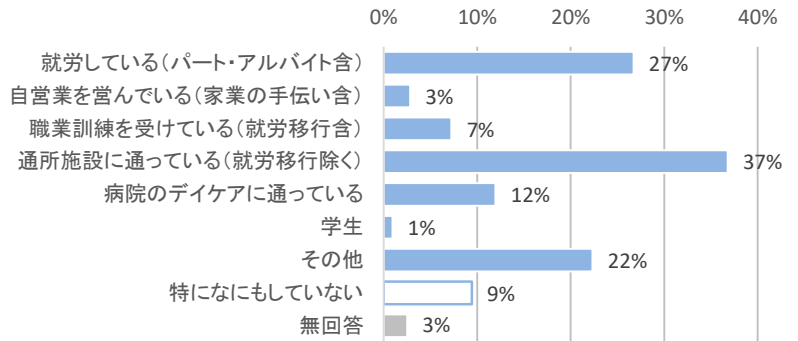


集計表(総数)

総数 (n=318)

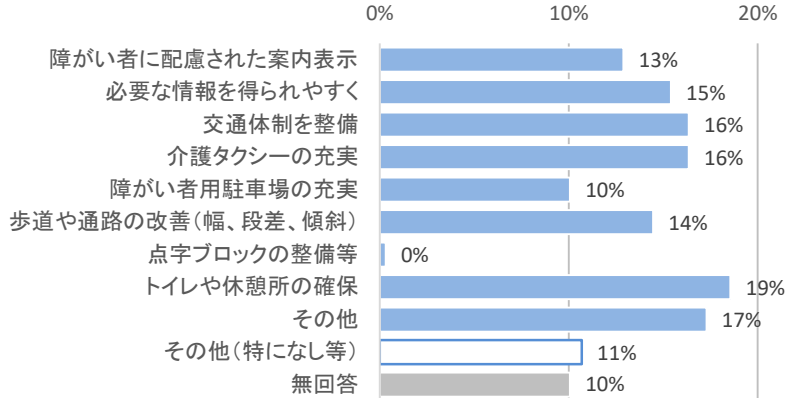
問8 日中の過ごし方【複数回答】

1 就労している(パート・アルバイト含)	85	27%
2 自営業を営んでいる(家業の手伝い含)	9	3%
3 職業訓練を受けている(就労移行含)	23	7%
4 通所施設に通っている(就労移行除く)	117	37%
5 病院のデイケアに通っている	38	12%
6 学生	3	1%
7 その他	71	22%
8 特になにもしていない	30	9%
無回答	8	3%



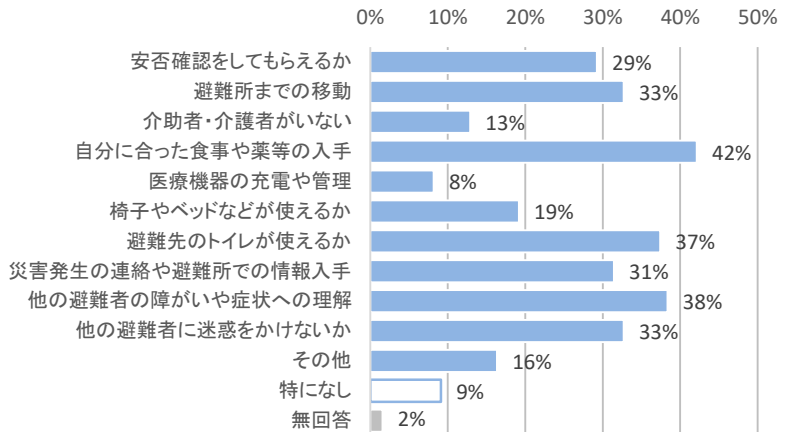
問9 外出しやすくなるには【最大2つ】

1 障がい者に配慮された案内表示	41	13%
2 必要な情報を得られやすく	49	15%
3 交通体制を整備	52	16%
4 介護タクシーの充実	52	16%
5 障がい者用駐車場の充実	32	10%
6 歩道や通路の改善(幅、段差、傾斜)	46	14%
7 点字ブロックの整備等	1	0%
8 トイレや休憩所の確保	59	19%
9 その他	55	17%
9' その他(特になし等)	34	11%
無回答	32	10%
平均回答数	1.54	



問10 災害時の避難や避難所での生活に関して心配なこと【複数回答】

1 安否確認をしてもらえるか	93	29%
2 避難所までの移動	104	33%
3 介助者・介護者がいない	41	13%
4 自分に合った食事や薬等の入手	134	42%
5 医療機器の充電や管理	26	8%
6 椅子やベッドなどが使えるか	61	19%
7 避難先のトイレが使えるか	119	37%
8 災害発生の連絡や避難所での情報入手	100	31%
9 他の避難者の障がいや症状への理解	122	38%
10 他の避難者に迷惑をかけないか	104	33%
11 その他	52	16%
12 特になし	29	9%
無回答	5	2%
1人あたりの回答数	3.05	



第6回自立支援協議会 資源開発部会 当事者向けアンケート グラフ

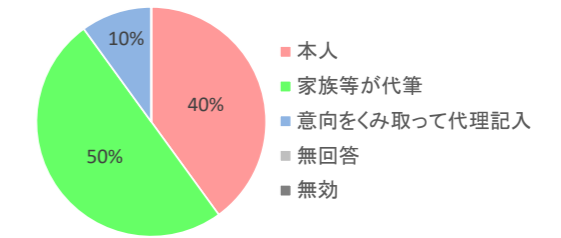
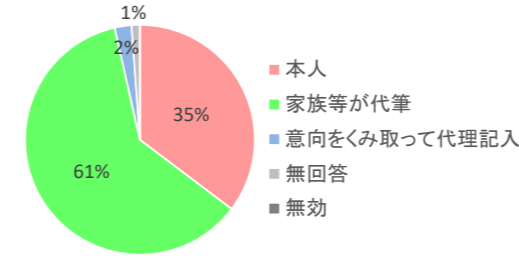
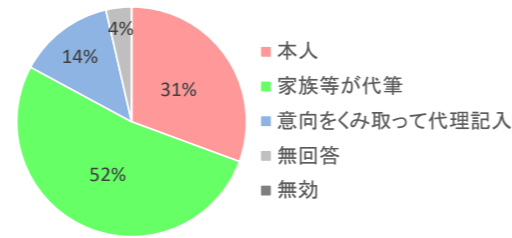
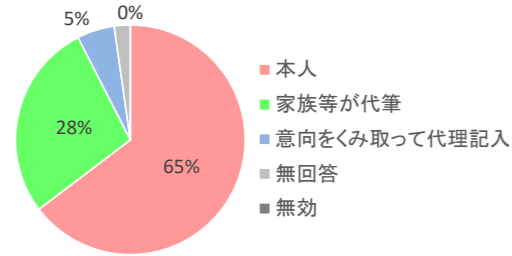
身体障がい n=133

知的障がい n=111

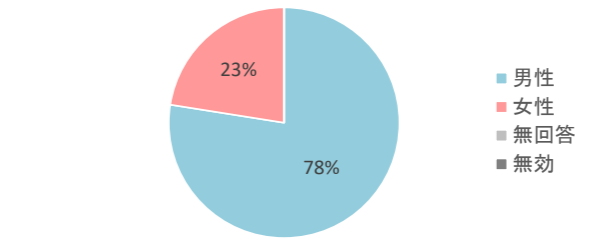
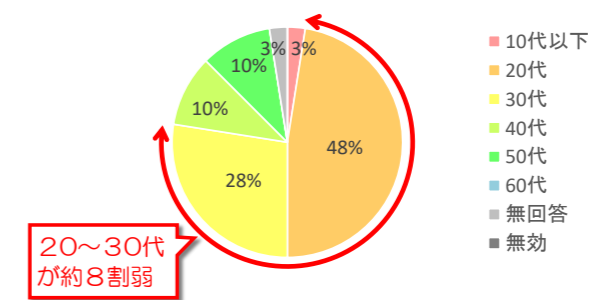
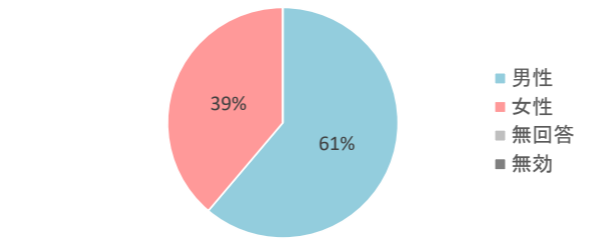
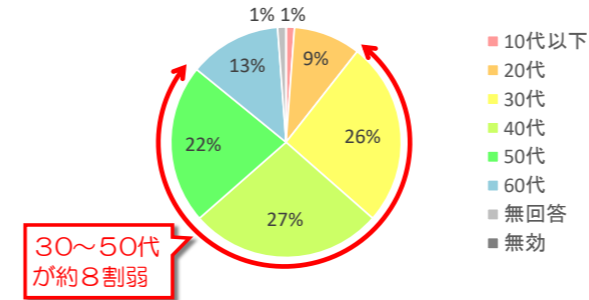
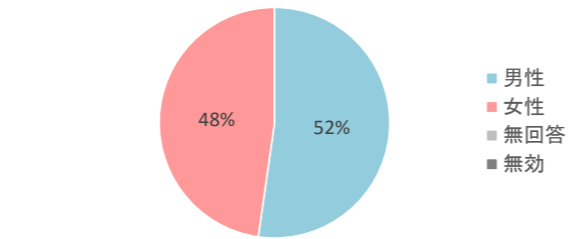
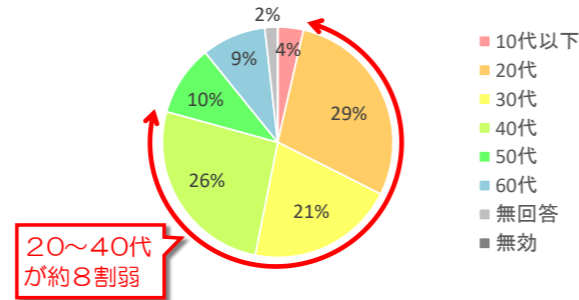
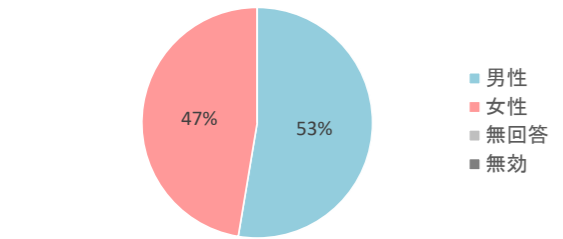
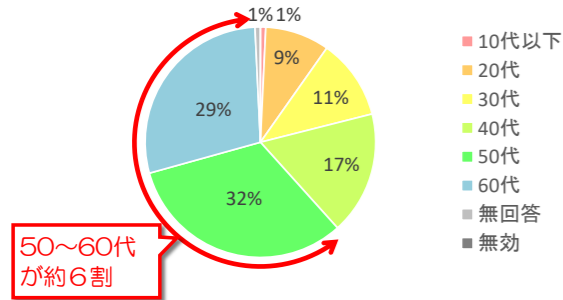
精神障がい n=85

発達障がい n=40

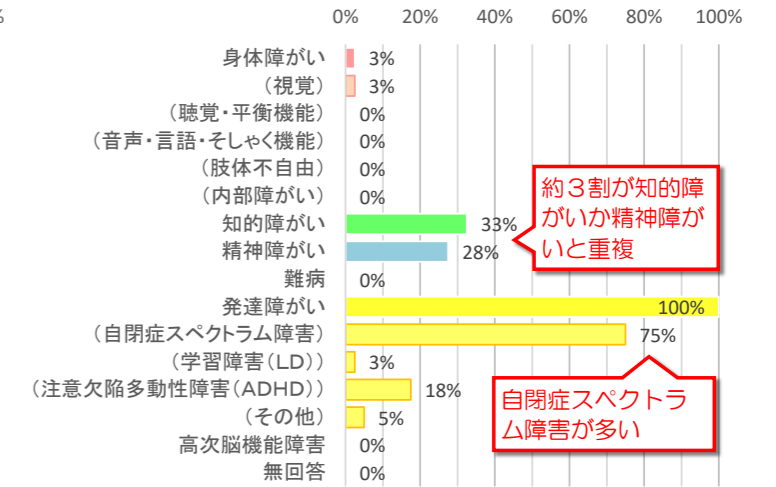
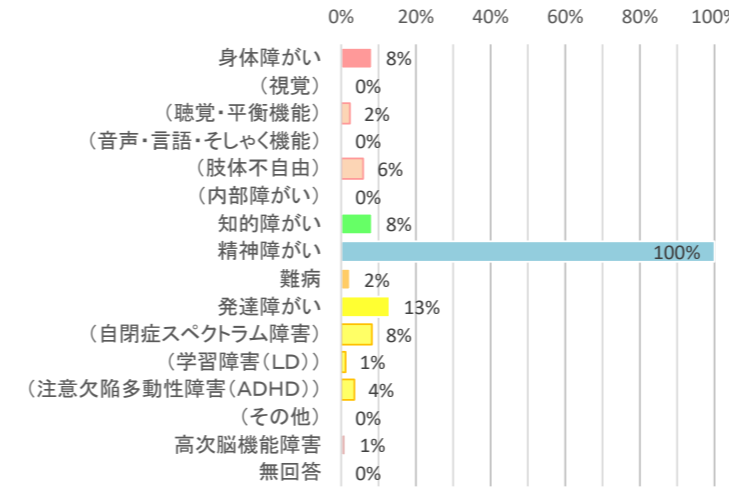
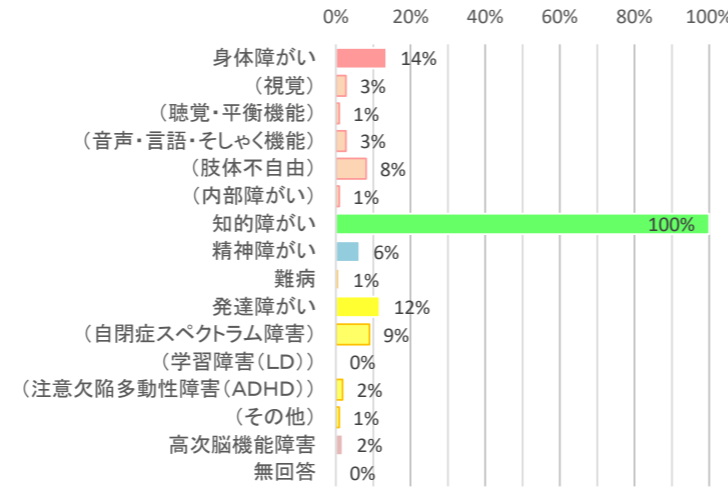
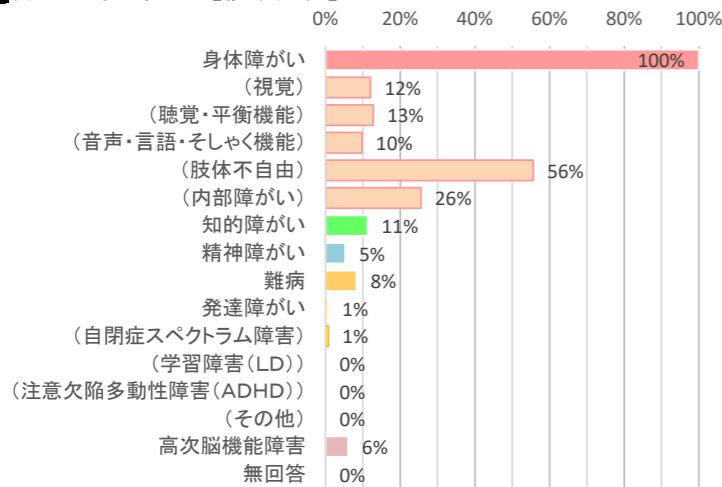
問1 アンケートの記入者



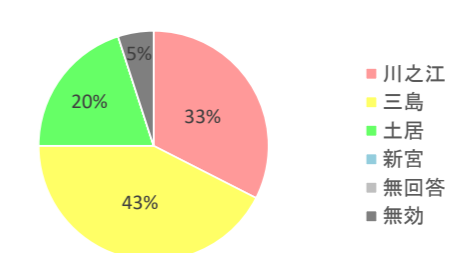
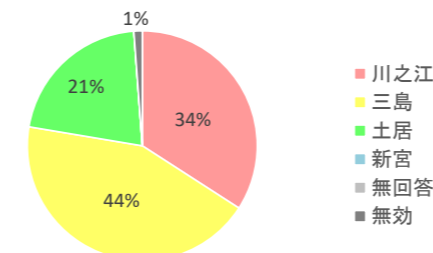
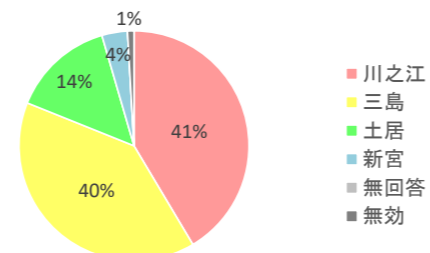
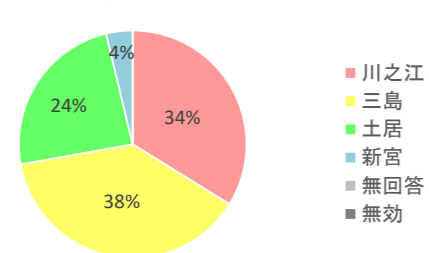
問2 年齢/性別



問3 障がい等の種別【複数回答】



問4 住んでいる地域



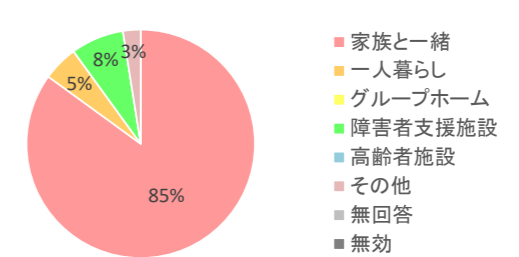
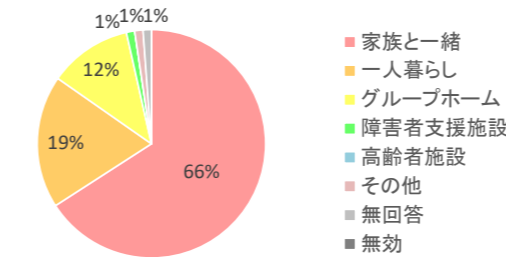
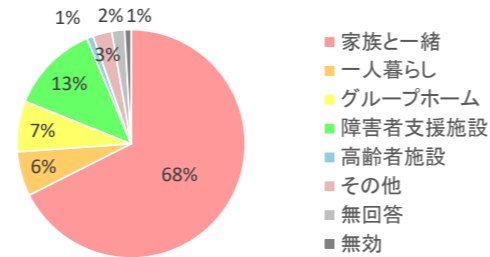
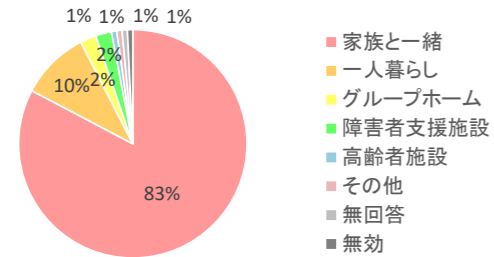
身体障がい n=133

知的障がい n=111

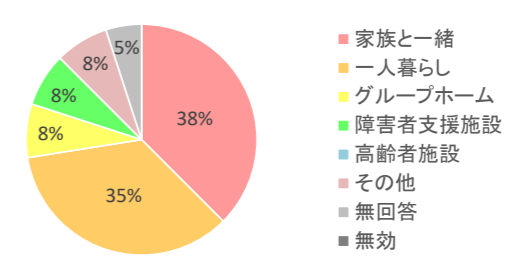
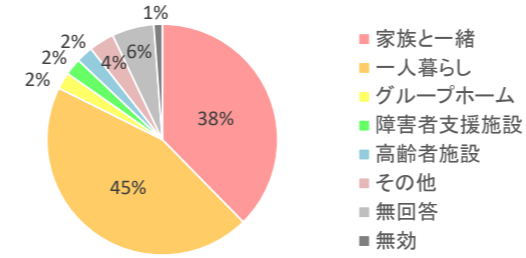
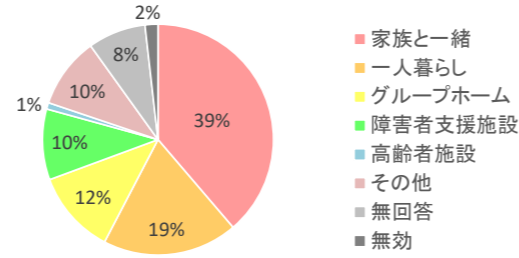
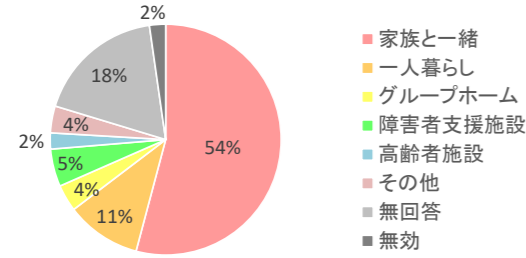
精神障がい n=85

発達障がい n=40

問5 今住んでいる環境



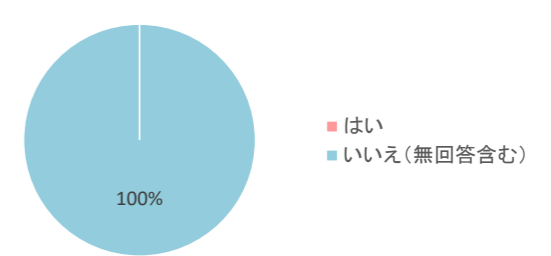
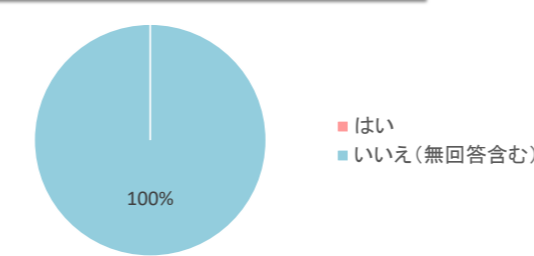
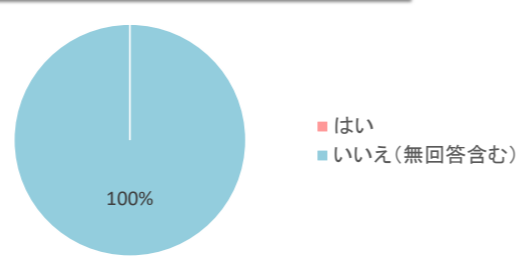
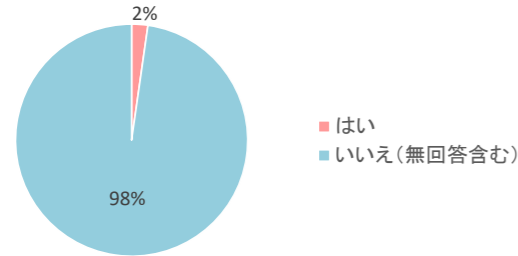
将来住みたい環境



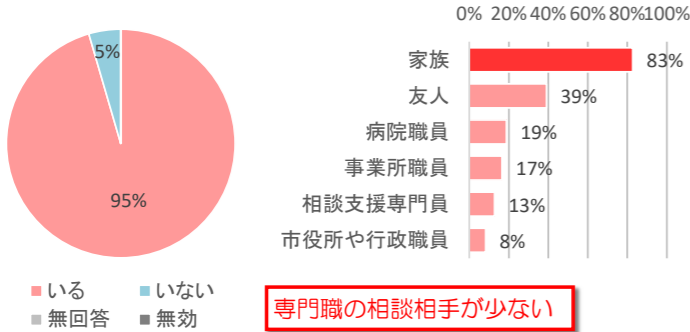
グループホームの希望が比較的多い
障害者支援施設の希望が現状より減少傾向

一人暮らしの希望が特に多い
グループホームの希望が現状より減少傾向

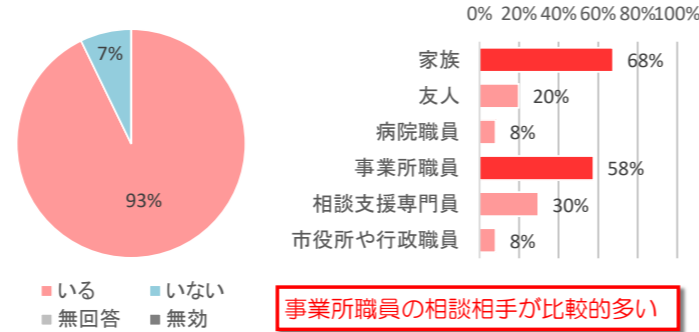
現在入院中



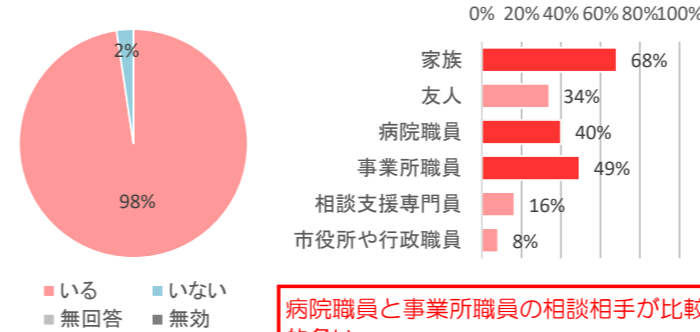
問6 相談相手



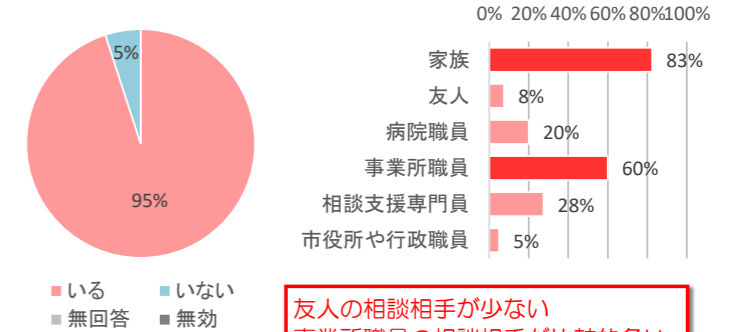
専門職の相談相手が少ない



事業所職員の相談相手が比較的多い

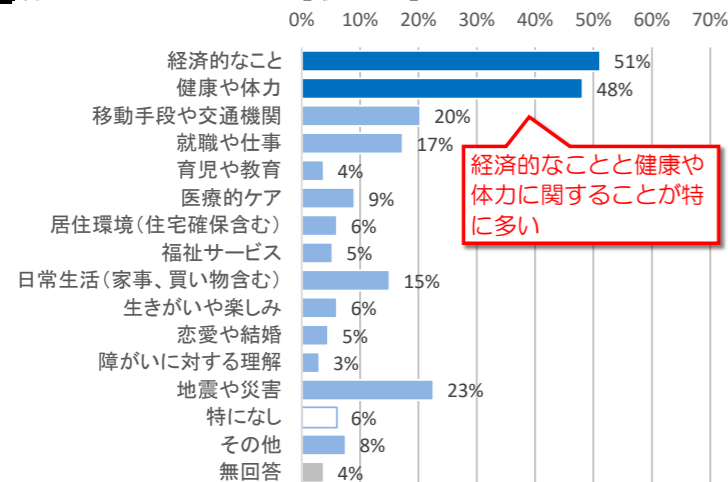


病院職員と事業所職員の相談相手が比較的多い

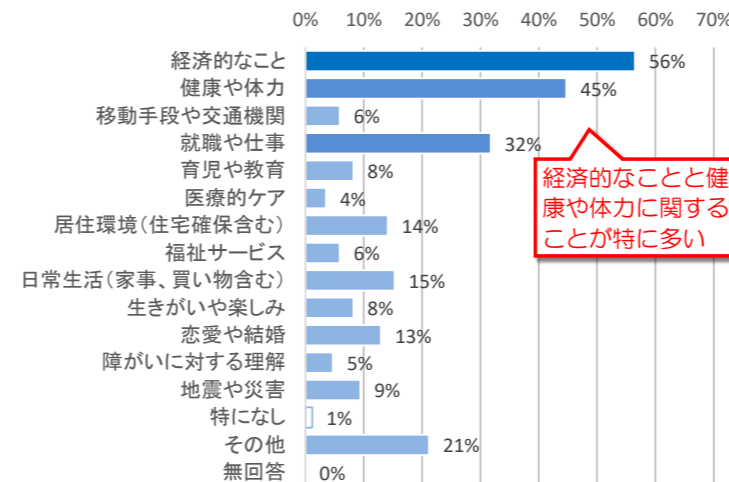
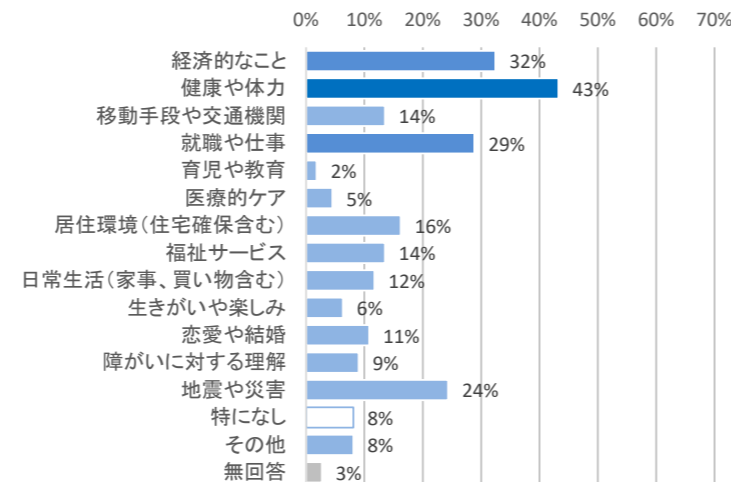


友人の相談相手が少ない
事業所職員の相談相手が比較的多い

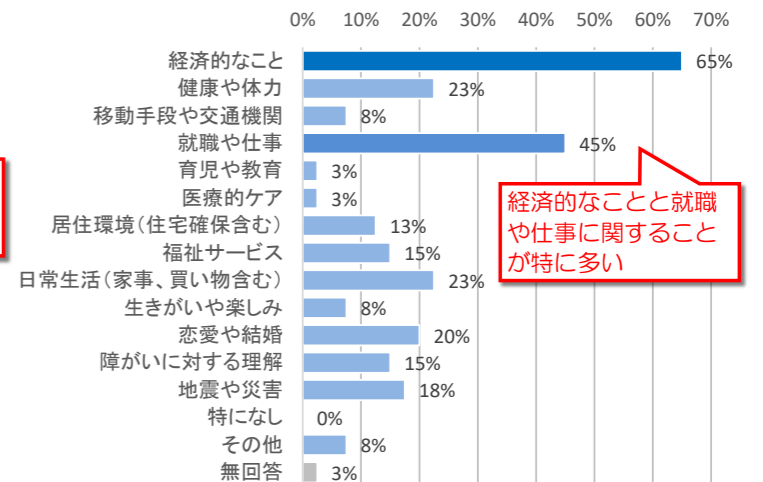
問7 将来について不安なこと【最大3つ】



経済的なことと健康や体力に関することが特に多い



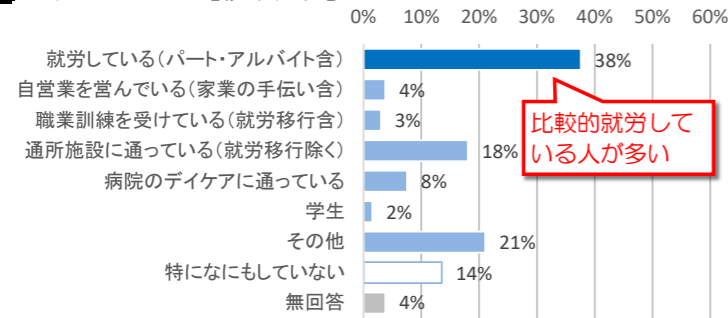
経済的なことと健康や体力に関することが特に多い



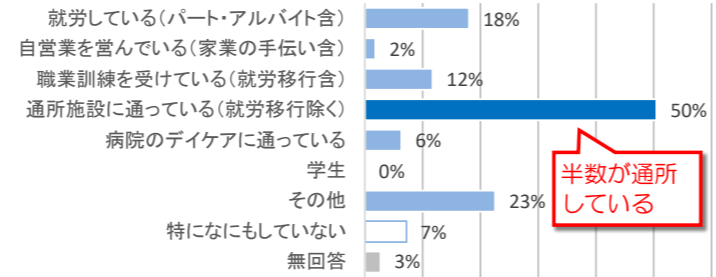
経済的なことと就職や仕事に関することが特に多い

身体障がい n=133

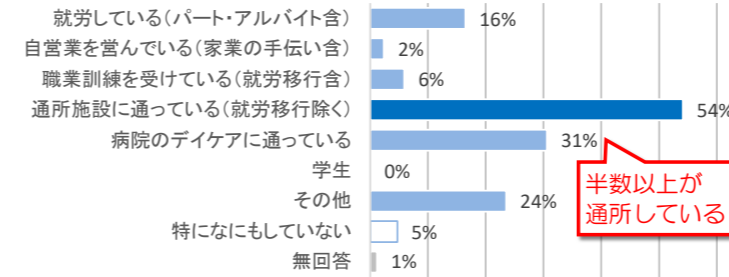
問8 日中の過ごし方【複数回答】



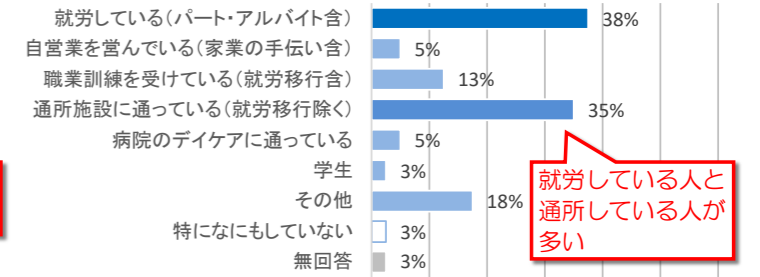
知的障がい n=111



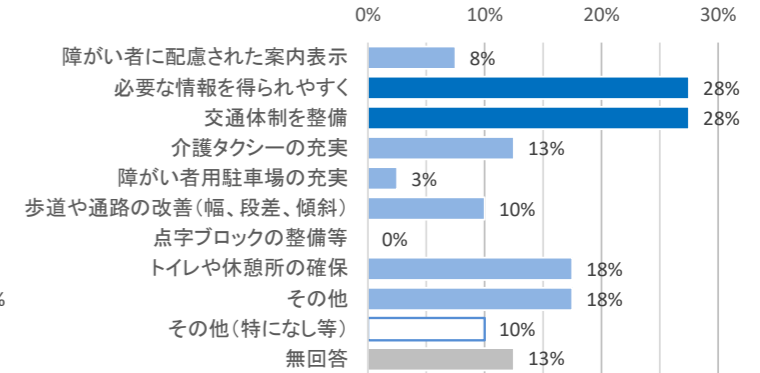
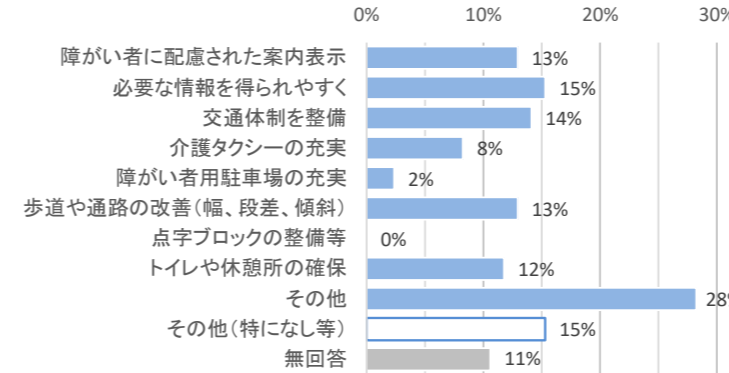
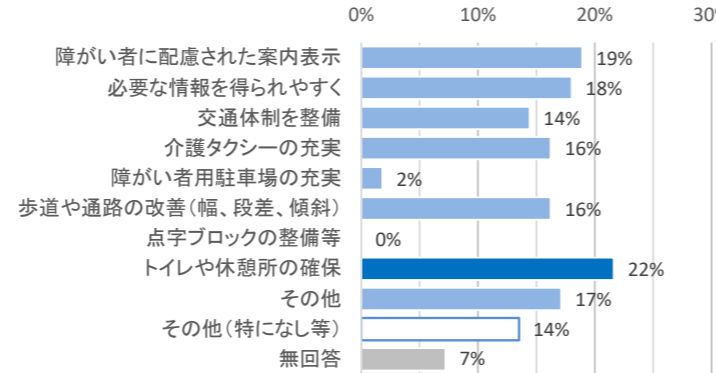
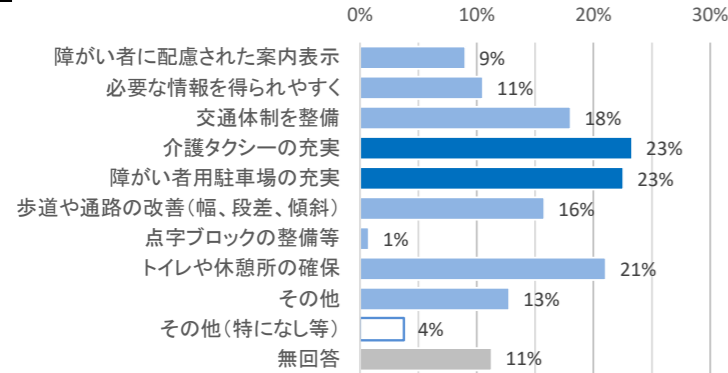
精神障がい n=85



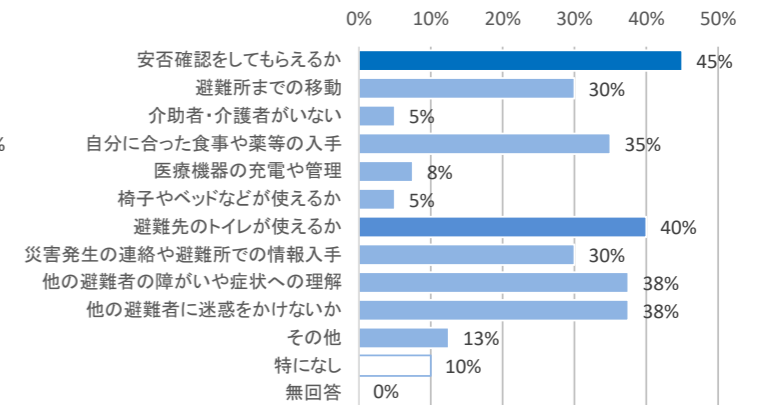
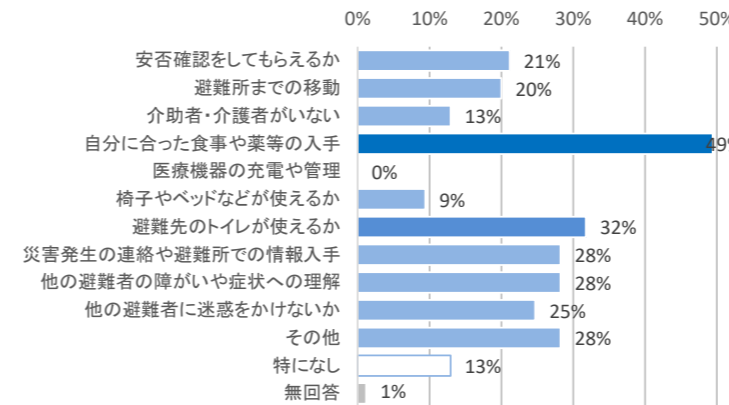
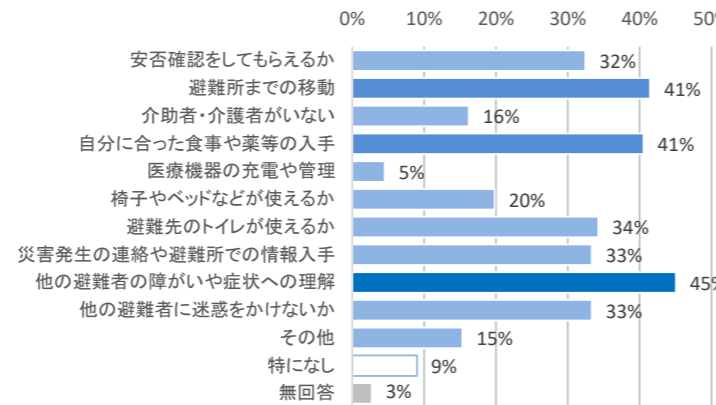
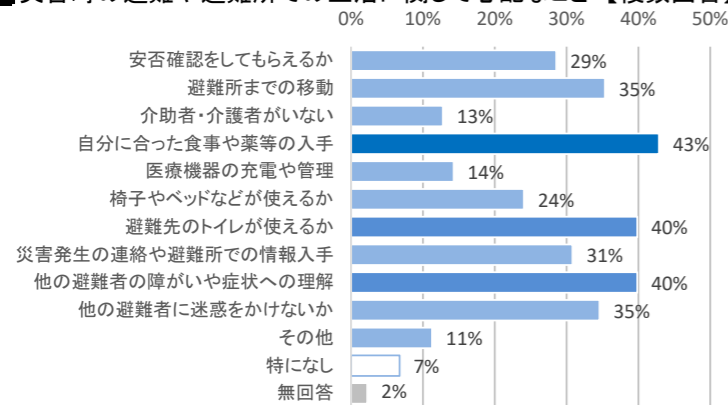
発達障がい n=40



問9 外出しやすくなるには【最大2つ】



問10 災害時の避難や避難所での生活に関して心配なこと【複数回答】



とうじしゃむ
当事者向けアンケート

このアンケート調査は、障がいのある方の状況、ご意見及びご要望を把握するために実施するものです。

対象者は身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の各手帳所持者から無作為抽出しております。

お答えいただいた内容については、不足しているサービスの検証や充実するための方策の研究、未実施及び新たなサービス利用に関する調査・分析に活用します。個人を特定するものではありませんので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

お手数ですが、調査票は、令和元年9月20日(金)までに同封の返信用封筒をご使用のうえ、ご返送ください。

しこくちゅうおうしじりつしえんきょうぎかい しげんかいはつぶかい
四国中央市自立支援協議会 資源開発部会

電話 (0896) 28-6023

【問1】 このアンケートの記入者について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 本人が自分で記入

2. 本人の意思を確認して、家族や介護者(施設職員)などが代筆で記入

3. 本人の意思を確認することが難しいため、家族や介護者(施設職員)などが本人の意向をくみ取って代わりに記入(本人との関係:)

【問2】 あなたの年齢と性別をお答えください。

【年齢】 令和元年8月1日現在 歳

【性別】 (あてはまるものに○をつけてください)

1 男性 2 女性

【問3】あなたの障がいについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 身体障がい → 障がいの部位すべてに○をつけてください
1. 視覚
 2. 聴覚・平衡機能
 3. 音声・言語・そしゃく機能
 4. 肢体不自由（上肢、下肢、体幹、脳原性運動機能）
 5. 内部障がい（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫、肝臓）

2 知的障がい

3 精神障がい（精神通院を含む）

4 難病（※関節リウマチや筋ジストロフィーなど治療法が確立していない疾病その他の特殊な疾病）

5 発達障がい → 主な障がいの内容をお答えください
 ↓（次の①～④のうち1つに○印）

- ① 自閉症スペクトラム障がい（自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障がい）
- ② 学習障がい（LD）
- ③ 注意欠陥多動性障がい（ADHD）
- ④ その他（ ）

6 高次脳機能障がい
 （※外傷性脳損傷、脳血管障がいにより脳に損傷を受け、その後遺症として生じた記憶障がい、注意障がい、社会的行動障がいなどの認知障がい、具体的に「会話がうまくかみ合わない」などの症状があります。）

【問4】あなたが現在お住まいの地域について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 川のえ
2. みしま
3. とい
4. しんぐう

【問5】 ^{とい}あなたのお^す住まいについて、^{います}今^{かんきょう}住んでいる^{しょうらいす}環境と、^{かんきょう}将来^か住みたい^{かんきょう}環境を、
1～6の番号を下の欄にそれぞれ1つお書きください。

1. 家族と一緒
かぞく いっしょ
2. 一人暮らし
ひとりぐ
3. グループホーム
4. 障害者支援施設（入所）
しょうがいしゃしえんしせつ にゅうしょ
5. 高齢者施設
こうれいしゃしせつ
6. その他（た）

^{います} 今、住んでいる ^{かんきょう} 環境		^{しょうらいす} 将来、住みたい ^{かんきょう} 環境	
現在入院中の方は、こちらに○を入れてください。			

【問6】 ^{とい}あなたのことを^{そうだん}相談する^{あいて}相手はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

いる →

1. 家族
かぞく
2. 友人
ゆうじん
3. 病院職員
びょういんしよくいん
4. 事業所職員
じぎょうしよしよくいん
5. 相談支援専門員
そうだんしえんせんもんいん
6. 市役所など行政職員
しやくしよ ぎょうせいしよくいん

いない

【問7】あなたの将来について、不安に思うことは何ですか。主なものを3つまで下の欄に番号と、その理由をお書きください。

1. 経済的なこと（お金のこと）
2. 健康や体力のこと
3. 移動手段や公共交通機関のこと
4. 就職や仕事のこと
5. 育児や教育のこと
6. 医療的ケアのこと
7. 住んでいる家の環境のこと（住宅確保を含む）
8. 福祉サービスのこと
9. 日常生活のこと（家事、買い物など）
10. 生きがいや楽しみのこと
11. 恋愛や結婚のこと
12. 周囲の障がいに対する理解
13. 地震や災害のこと
14. 悩みは特にない
15. その他

ばんごう 番号	りゆう その理由

【問8】あなたは日中の生活をどのように過ごされていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 就労しゅうろうをしている（パート・アルバイトぱーと・あるばいとを含むふく）
2. 自営業じえいぎょうを営いんでいる（家業かぎょうの手伝いてつだいを含むふく）
3. 職業訓練しよくぎょうくんれんを受けている（就労移行しゅうろういこうを含むふく）
4. 通所施設つうしょしせつなどに通かよっている（就労移行以外しゅうろういこういがい）
5. 病院びょういんのデイケアかよに通かよっている
6. 学生がくせい
7. その他（）
8. 特とくになにもしていない

【問9】あなたが外出がいしゅつする時ときに、どのような環境かんきょうになれば外出がいしゅつしやすくなると思おもいますか。最大2つまで○をつけてください。

1. 道路どうろや駅えき、バス停ていなどの案内あんないを障がいしょうがいに配慮はいりよして分かりやすく表示ひょうじする
2. 外出先がいしゅつさきの地域ちいき・店舗てんぽの情報じょうほうなど、外出がいしゅつに必要な情報ひつようを得られやすくする
3. 低床ていしょうの路線バスろせんの増便ぞうびんや他の交通手段たこうつうしゅだんとのスムーズな連結れんけつなど交通体制こうつうたいせいを整備せいびする
4. 介護かいごタクシーたきしを充実じゅうじつする
5. 障がい者用しょうがいしゃようの駐車場ちゅうしゃじょうをもっと確保かくほする
6. 歩道ほどうや通路つうろの幅はば、段差だんさや傾斜けいしゃなどを改善かいぜんする
7. 点字ブロックてんじの整備せいび（設置せっちや修復しゅうふく）や点字ブロック上てんじの障がい物しょうがいぶつを除去じょきょする
8. 外出時がいしゅつじに利用できるトイレりようや休憩所きゅうけいじょなど必要なスペースひつようを確保かくほする
9. その他（）

